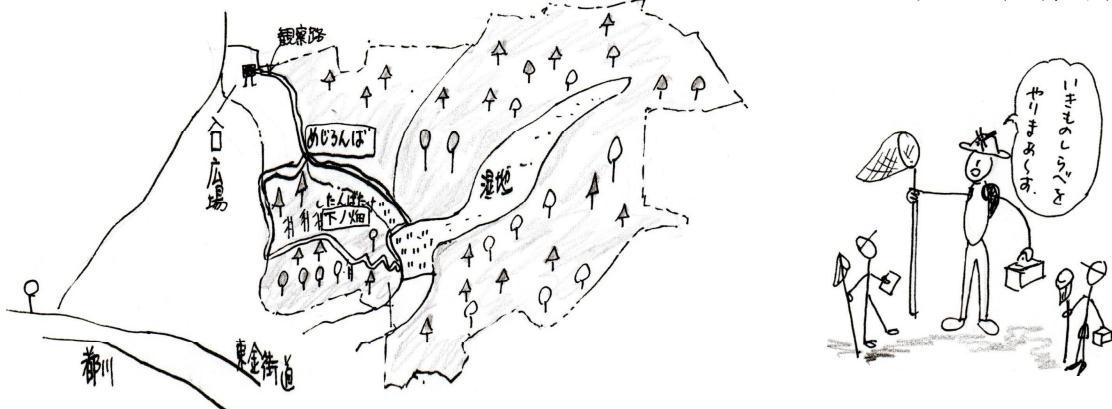


大草谷津田いきものの里自然観察ガイド

何種類の生きものに出会えるかな？

弦巻滋子（千葉市）



日 時：2009年10月18日（日）10:30～12:00 天候：晴れ

参加者：17名（大人10名 子ども7名）

担当指導員：松本美千代（隊長）・弦巻滋子

今日は全員が＜生き物の調査隊員＞となり、生き物を見つけたら「いきものしらべ」の手帳にシールを貼る方法で観察を始めました。手帳にはあらかじめ10項目、＜チョウ・ガのなかま、カブトムシのなかま、ハチのなかま、ハエ・アブのなかま、セミ・カヘムシのなかま、トンボのなかま、バッタなどのなかま、昆虫以外の生き物、貝のなかま、その他の小動物＞に分けて、代表的な生き物の絵と見つかりそうな生き物の名前を記入しておきました。

数日前にオオスズメバチの巣が観察路の近くで見つかり、措置はしたものまだ飛んでいるのが見られたりしているので、ハチは大きいのは勿論、小さくても絶対に捕まえたりしないように、トンボやチョウチョを捕まえた皆で観察しましようと＜隊員＞に伝えて早速調査が始まりました。

この観察会の常連のヒロ君は今日もお父さんとやって来て、手帳に名前を書いてもらい、虫取り網と虫かごをもってすぐにハラビロカマキリを見つけました。入口広場の前のシラカシの所ではウラギンシジミの♀がひらひら飛んでいるのが見つかり、隊長が捕まえて、成虫で越冬すること、羽の色でオスとメスの違いが分かること等説明しました。

入口広場の所では他にワキグロサツマノミダマシ、オオクモヘリカヘムシ、ナツアカネ、ミスジマイマイ、オオカマキリの卵のう、クロウリハムシ、アカサシガメ、ジョロウグモ、タナグモ、ツチイナゴ、マルカヘムシ、マクラギヤスデ、ノシメトンボ、ハラナガツチバチ、クマズズムシ、ウコソカギバ♂♀等が見つかりました。

杉林を下り、めじろんばを右に下ノ畠に向かい途中で折り返しましたが、少し暗い木の下には色々なクモが見つかりました。霧吹きで網に水を吹きかけると丸い渦の模様のウズグモ、扇形のオウギグモ、松葉のようなオナガグモ、これを見て「私もこんなに細くなりたいわー」と声がしました。樹の間に大きな網を張ったジョロウグモを見て、「わー！メタボなクモ」、こ

の他ヨツデゴミグモ、ハツリグモ、シュレーゲルアオガエル、オオアオイトンボ、ヒラタアブ、アリ、キセルガイ、ザトウムシ、コアシナガバチ、トラマルハナバチ、コカマキリ、ミノガの幼虫等が見つかりました。

めじろんばを左に少し行ったコナラの樹にはクロコノマチョウがいました。昔は見られなかつたのが温暖化のせいで最近この辺りでも見られるようになったと隊長から説明がありました。メスグロヒョウモン♀も飛んでいました。

ハチの心配や時間のこともあり、観察ルートも少し変更した為、田圃等水辺の生きものを観察することは出来ませんでしたが、入口広場の所だけでも10数種類、全部で40種類程の生きものに出会えました。

参加者から「手帳がとてもよく出来ている。この次来る時にまた持つて来ます。」との感想も寄せられました。

